

上越市 ^{しもわり}下割遺跡 (VI) 現地説明会資料

平成 23 年 7 月 2 日(土)

国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所
新潟県教育委員会
財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
株式会社 吉田建設

1 はじめに

一般国道 253 号上越三和道路は、上越市寺～同市三和区を結ぶ長さ 7.4 km の地域高規格道路で、上越市から南魚沼市に至る延長 60 km の上越魚沼地域振興快速道路の一部です。

この道路建設に伴う発掘調査は、平成 14 年度から行われています。下割遺跡は、平成 13 年度の事前調査で発見され、平成 14 年度から断続的に発掘調査が行われています。今年度は面積約 2,800 m²を 4 月から調査しています。下割遺跡は東西約 900m、南北約 700m に及ぶ広大な遺跡で、今年で 6 回目の発掘調査となります。

2 遺跡の位置と立地

今年度の調査区は、上越市大字米岡字番場 780 番地ほかに所在します。遺跡は高田平野のほぼ中央に位置し、東側には南から北に飯田川が流れています。遺跡はこの飯田川の自然堤防上に立地し、標高は 14 m です。

周辺にはこれまでそれほど多くの遺跡は存在しませんでした。上越三和道路や圃場整備事業に伴う事前調査や発掘調査の結果、多くの遺跡が見つかりました。狐宮遺跡(門田新田地内:平安時代)、三角田遺跡(下野田地内:奈良・平安時代)、延命寺遺跡(下野田地内:古墳・飛鳥・奈良時代)、下割遺跡(米岡地内:古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代)は、上越三和道路建設に伴い発掘調査した遺跡です。



遺跡の位置と予定路線 S=1/25,000

(1 下割遺跡 2 延命寺遺跡 3 三角田遺跡 4 狐宮遺跡)